

保護者の皆様

新開小学校長 西山 稔江

令和7年度 学校評価の結果・考察について

向春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。日頃は、本校教育に格別のご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、以前にご協力いただきました学校評価の保護者アンケート結果について報告させていただきます。質問に対する肯定的な評価(よくあてはまる・おおむねあてはまる)の割合を%で表しました。結果を踏まえ、今回いただいた貴重なご意見等を、今後の学校運営に生かし反映させていきたいと考えています。ご協力いただきありがとうございました。

令和7年度新開小学校 学校評価(保護者)アンケート結果

| 番号 | 項 目 | 肯定的 | 昨年度比 |
|----|---|-----|------|
| 1 | 学校は、学習や生活の様子をホームページや学級だより等で適切に知らせている。 | 92% | ↓4% |
| 2 | 学校は、子どものことについて相談・連絡しやすい。 | 93% | ↓5% |
| 3 | 学校は、校舎内・校舎外など安全で学習しやすい環境づくりに取り組んでいる。 | 93% | ↑1% |
| 4 | 学校は、交通安全指導・避難訓練・引き渡し訓練など、安全・防災教育に取り組んでいる。 | 96% | ↓1% |
| 5 | 学校は、地域の特性を生かした教育活動を行っている。 | 92% | ↓1% |
| 6 | おさんは、宿題など家庭学習や次の日の準備にきちんと取り組んでいる。 | 85% | ↑4% |
| 7 | おさんは、学習したことをよく理解している。 | 82% | ↓1% |
| 8 | おさんは、進んで自分の考えを伝えたり、表現したりしている。 (ペア学習やグループ活動での話し合いを含む) | 74% | ↑7% |
| 9 | おさんは、読書に親しみ、読書をする習慣が身についている。 | 37% | ↑8% |
| 10 | おさんは、家庭学習等にAIDリルを活用している。(長期休業日中を含む) | 54% | ↑6% |
| 11 | 本校の教職員は、わかる授業を工夫し、子どもの学力向上に取り組んでいる。 | 90% | ↓6% |
| 12 | おさんは、授業や行事を通して楽しく学校生活を送っている。 | 92% | ↓4% |
| 13 | おさんは、いじめもなく仲良く生活できている。 | 94% | ↓1% |
| 14 | おさんは、進んであいさつをしている。 | 76% | ↓5% |
| 15 | 本校の教職員は、子ども理解に努め、良さや可能性を伸ばそうとしている。 | 94% | ±0% |
| 16 | おさんは、外遊びや適度な運動をして、体力向上に努めている。 | 81% | ↑7% |
| 17 | おさんは、早寝・早起きができている。 | 72% | ↑2% |
| 18 | おさんは、朝ご飯を食べて登校している。 | 93% | ↓2% |
| 19 | 授業参観や学校行事、PTA活動にはできるだけ参加している。 | 92% | ↓1% |
| 20 | 家庭では、子どもと対話し、心が豊かになるように心がけている。 | 95% | ↑2% |

(裏面に続く)

1 成果

【保護者のアンケート】

- 「学校は、子どものことについて相談・連絡しやすい」「本校の教職員は、子ども理解に努め、良さや可能性を伸ばそうとしている。」「本校の教職員は、わかる授業を工夫し、子供の学力向上に取り組んでいる」については、90%以上の肯定的な回答をいただいた。しかし、昨年度よりやや減少していることから、今後もより一層、目の前の子供達に応じた教育実践や関わりに尽力していきたい。
- 「自分の考えを表現すること」「読書習慣の定着」の項目において、昨年度と比較して数%の増加が見られた。これまでの取組の成果は少しずつ出てきている。今後も取組を継続・発展させていきたい。
- 「授業参観や学校行事、PTA活動にはできるだけ参加している」「学校は、地域の特性を生かした教育活動を行っている」「家庭では、子どもと対話し心が豊かになるように心がけている」の肯定的評価の割合が90%を超えており、家庭や地域等と連携した学習活動が実践されてきた成果だと受け止めている。

【児童のアンケート】

- 「友達と仲良く遊んだり協力したりする」や「先生はまちがった行動に対して正しいことを教えてくれる」の項目で肯定的な評価が90%を超えており、「いじめ問題や仲間づくり」への取組の成果が出ている。
- 昨年度から取り組んできた「授業中、考えを伝えたり聞いたりする」項目では、90%を超える児童が肯定的に評価している。日常の学習規律が整い、子供達の意欲も高まってきていると言える。今後も継続して、表現力やコミュニケーション能力の向上に向けて取り組んでいきたい。
- 「学校や家庭でAIDリルを使って学習している」の項目が昨年度と比較して18%増加している。長期休業日の家庭学習だけでなく、日々の授業等における個別学習へ活用するなど、今後も取り入れていきたい。

2 課題

| | |
|---|-----|
| 【保護者アンケート】お子さんは、外遊びや適度な運動をして、体力向上に努めている。 | 81% |
| お子さんは、早寝・早起きができている。 | 72% |
| 【児童アンケート】「早寝・早起き・朝ご飯」や適度な運動(そとあそびなど)ができている。 | 82% |
| 【保護者アンケート】お子さんは、読書に親しみ、読書をする習慣が身につけている。 | 37% |
| 【児童アンケート】よく読書をしている。 | 53% |
| 【保護者アンケート】お子さんは、進んであいさつをしている。 | 76% |
| 【児童アンケート】家の人や先生、友達や地域の人にすすんであいさつができている。 | 87% |

- アンケート結果から児童・保護者ともに、「あいさつ」「外遊びや運動・早寝早起き」「読書習慣」について今後も取り組む課題と捉えていると言える。児童が主体的に学習・生活習慣を見つめて行動できるような活動を設定したり、学校・家庭が連携し、より効果的な活動に取り組んだりしていきたい。

| | |
|---|-----|
| 【児童アンケート】先生はできたことやがんばったことを認めてくれたりほめてくれたりする。 | 87% |
| 【児童アンケート】先生にわからないことや困っていることを伝えたり相談したりしている。 | 73% |

- 児童アンケートでは、「先生に伝えたり相談したりできる」「先生は認めたり褒めたりしてくれる」の項目で肯定的評価が80%前後となった。悩み事や困り事を抱える児童や頑張りを認めて欲しいと感じている児童が増えていると捉えることもできる。また、教職員の気付きや見取りも、より一層充実させる必要がある。今後も、「ポジティブな行動支援」を継続する、児童の観察や児童との対話を増やすなど、全教職員で、全ての児童に対して寄り添った関わりを続けていきたい。

今回の結果を次年度の学校教育活動の目標や課題に反映させ、具体的な方策を工夫していきたいと思います。今後も、保護者や地域の皆様方にご支援・ご協力いただき、子どもたちのために教育活動を充実させてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。